

平成 22 年 2 月 19 日

各 位

株式会社 大塚家具
 代表取締役社長 大塚久美子
 (JASDAQ・コード番号 8186)
 問い合わせ先
 執行役員広報部長 岩本修司
 電話 03-5530-5566

(訂正)「平成 20 年 12 月期 決算短信(非連結)」の一部訂正について

平成 21 年 2 月 19 日に発表しました「平成 20 年 12 月期 決算短信(非連結)」の一部に訂正すべき箇所がありましたので、下記のとおりお知らせ致します。なお、訂正箇所には下線を付しております。

記

1. 訂正理由

企業会計基準第 14 号「『退職給付に係る会計基準』の一部改正(その 2)」が、平成 19 年 4 月 1 日以降に開始する事業年度から適用となり、当社の場合、平成 20 年 12 月期決算短信から記載すべきものでしたが、改正前の基準での記載となっていたため訂正いたします。

2. 訂正箇所

26 ページ「財務諸表に関する注記事項(退職給付関係)」

(訂正前)

当事業年度末(平成 20 年 12 月 31 日)

当社は昭和 57 年 1 月より調整年金制度として東京都家具厚生年金基金に加入しております。同基金の年金資産残高のうち、当社の加入人員割合に基づく平成 20 年 12 月 31 日現在の年金資産残高は 5,180,313 千円であります。

(訂正後)

<u>当事業年度</u> (自 平成20年1月1日 至 平成20年12月31日)	
<u>1 採用している退職給付制度の概要</u>	
<u>当社は、確定給付型の制度として、総合設立型厚生年金基金(東京都家具厚生年金基金)に加入しております。</u>	
<u>2 要拠出額を退職給付費用として処理している複数事業主制度に関する事項は次のとおりであります。</u>	
<u>(1)制度全体の積立状況に関する事項</u>	
<u>(平成 20 年 3 月 31 日現在)</u> (単位：千円)	
<u>年金資産の額</u>	<u>99,347,288</u>
<u>年金財政計算上の給付債務の額</u>	<u>135,183,767</u>
<u>差引額</u>	<u>△ 35,836,478</u>
<u>(2)制度全体に占める当社の掛金拠出割合</u>	
<u>(平成 20 年 12 月分)</u>	<u>4.91%</u>
<u>(3)補足説明</u>	
<u>上記(1)の差引額の主な要因は、年金財政計算上の過去勤務債務残高△22,868,015 千円、資産評価調整加算額△14,813,630 千円、別途積立金 450,494 千円及び剰余金 1,394,672 千円であります。本制度における過去勤務債務の償却方法は期間 20 年の元利均等償却であり、当社の財務諸表上、特別掛金 154,219 千円を費用処理しております。なお、上記(2)の割合は当社の実際の負担割合とは一致いたしません。</u>	
<u>3 退職給付費用に関する事項</u>	
<u>当社は、厚生年金基金への拠出額 356,834 千円を勤務費用(販売費及び一般管理費)として計上しております。</u>	
<u>(追加情報)</u>	
<u>当事業年度より、『退職給付に係る会計基準』の一部改正(その 2)」(企業会計基準第 14 号 平成 19 年 5 月 15 日)を適用しております。</u>	